

平成30年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類	授業担当者
環境指導法				演習	栗原 博士
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
2	1	30	15	前期	卒業:必修 幼免:必修 保育士:必修
[授業の目的・ねらい] 幼稚園教育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について理解を深め、幼児が身近な環境に親しみ、自然や季節感に触れ合うことで興味関心を持てるような保育の構想、指導方法を身に付ける					
[授業全体の内容と概要] 領域「環境」について理解し、幼児の発達を促せるように、学生自身が季節によって変化する自然に触れ合い、その経験を生かした保育の指導案作成や模擬保育の実施					
[受講上の注意事項] 積極的に参加すること					
[使用テキスト] 「保育内容 環境の実際」(建帛社)			[評価基準] 定期試験(40%)、授業に臨む姿勢(40%)、 模擬授業の発表内容(20%)		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	オリエンテーション		進め方など		
2	春の自然に親しむ		校外で自然(桜など)との触れ合いと遊び		
3	領域「環境」のねらいと内容について		領域「環境」とは何か		
4	子どもがどのように成長していくのか		乳幼児の発達について		
5	園内外での遊びや活動		実際に遊びながら、保育に使える活動などを考える		
6	園内外での遊びや活動				
7	自分の地域を知る		住んでいる地域の特徴(自然、施設など)を調べて自分の住んでいる地域を知る		
8	子どもを取り巻く環境(家庭、社会など)		現代の家庭や、子どもが育つ社会がどのような状況なのかを知る		
9	子どもを取り巻く環境(家庭、社会など)				
10	現代の教育・保育の考え方		インクルーシブ保育、ユニバーサルデザインなどについて学ぶ		
11	現代の教育・保育の考え方				
12	自然との触れ合いと遊び		校外で自然との触れ合いと遊び		
13	模擬保育指導案の作成		グループに分かれ「模擬保育」の指導案を作成する		
14	模擬保育指導案の発表		グループごと指導案の発表をする		
15	まとめと定期試験		試験		